



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2007年（平成19年）9月15日号 No. 1407

目次

■ロシアの首相交代をどう見るか	1
■トピックス	9
JALがモスクワ乗り入れをドモジェドヴォに変更／9	
トヨタ銀行がロシアで営業開始／10	
カザフ政府、国営石油会社の権益拡大求める／10	
■エトセトラ	10
バイカル湖投資セミナーのご案内／10	
メンバーズ・ブリーフ「キルギス共和国における投資機会」のご案内／10	
■ロシアNIS貿易会関連の行事予定	11
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート	11

ロシアの首相交代をどう見るか

はじめに

日本でも広く報道されているように、ロシアでは9月12日にフラトコフ首相が「自発的」な退陣をプーチン大統領に申し出て、大統領がこれを受け入れる形で、フラトコフ内閣は総辞職した。プーチン大統領は同日、連邦金融監視局の局長を務めてきたズプコフ氏を、新たな首相候補に指名した。9月14日にも、下院で承認投票が行われる予定だが、圧倒的多数で承認されることは確実である。

ロシアでは、今年12月に下院選挙が、来年3月には大統領選挙が実施される。退陣するプーチン大統領が早晩、自らの意中の後継者を首相に指名するということがかねてから予想されており、その座に最も近い人物としてはイワノフおよびメドヴェージェフの両第一副首相の名が取り沙汰されてきた。そうしたなかで、プーチン大統領が不意に、無名に近かったズプコフ氏を首相に指名したことで、様々な憶測が広がっている。

そこで、今回の速報では、本件に関する現地マスコミの報道振りのなかから、注目すべきものをいくつかピックアップして、その要旨を紹介することにする。